

# 2005 年度事業報告

<2005 年 4 月 1 日～2006 年 3 月 31 日>

## I. 概要

ESD-J は、政府・地方自治体・企業・教育関連機関に対して対等な立場で政策提言および協働・連携による活動を行う事により、持続可能な社会の実現に向けた教育(ESD)の推進に寄与する事を目的として設立された、NGO・NPO・個人によるネットワーク組織である。2003 年度から 2005 年度までの三年間を ESD 推進のための基盤整備の期間と位置づけ、

- 1) 情報共有 : ESD および ESD の 10 年の周知と、ESD に関する情報提供・交流の基盤をつくる
- 2) 研修・普及啓発: ESD および ESD の 10 年の周知と、ESD の担い手育成の基盤をつくる
- 3) 政策提言 : ESD が市民参加、協働、地域主体で推進されるような体制と制度の基盤をつくる
- 4) 地域ネットワーク構築: 地域で ESD を進めていく上でのネットワークの基盤をつくる
- 5) 国際ネットワーク構築: 日本と海外の情報交換・相互交流の基盤をつくる

に取り組んできた。

1)2)4)5)に関しては毎年それなりの成果を積み上げてきたものの、3)「制度の基盤を作る」ことを目的とした政策提言は、2005 年の半ばまで政府側の動きがなかなか進まない事から「のれんに腕押し」の状況が続いていた。しかし 10 月にユネスコが「ESD の 10 年国際実施計画」を発表したことを受け、ESD-J から国会議員等を通じて強力な働きかけを行ったことが功を奏し、12 月によりやく「ESD の 10 年関係省庁連絡会議」が設置されるにいたった。その後の展開は非常に速く、3 月 30 日には「わが国における ESD の 10 年実施計画」が取りまとめられた。

ESD-J はこの動きに対し、よりよい国レベルの制度的基盤（国としての推進体制作りと市民参加による実施計画作り）を実現すべく提言活動を展開したが、結果は不十分といわざるを得ない。当初から ESD-J が提案してきた

- ・内閣総理大臣を本部長とする ESD 推進本部の設置
- ・さまざまな関係者が参画する協働推進体制の設置

の実現に向け、今後も働きかけを行っていくとともに、さまざまな関係者を巻き込んで、ESD の 10 年の達成目標を明確化していくことが必要である。

以下に今年度の活動を報告する。またこれら 3 年間の成果を一冊に取りまとめ、『ガイドブック：“未来をつくる教育”をつくる』を発行した。より詳しい内容はそちらを参照していただきたい。

## II. 事業活動

### 1. 情報収集・提供および出版事業

2003 年度はウェブサイトを立ち上げ、2004 年度から「ESD レポート」を季刊で発行してきた。「ESD レポート」では、ESD を具体的な地域での取り組み事例から考える「特集・地域発 ESD」をはじめ、キーワード解説や書籍の紹介などを連載するほか、6 号からは文部科学省など政府機関の ESD 関連施策を紹介するなど、地域で ESD を始める際に役立つ情報掲載を心がけている。

また、「ESD の 10 年」を教育関係者・行政関係者のみならず、多くの人々に周知することを目的とした ESD の 10 年キックオフブック「ESD がわかる！」を 4 万部制作、無償配布を行った。これは助成金および企業 8 社の協賛により実現したものである。

#### <主な活動>

- ・ ESD の 10 年キックオフ・ブック「ESD がわかる！」の制作と配布（B5 版 24 ページ、フルカラー、4 万部を全国に配布）
- ・ 日本語版ウェブサイトの充実（通年）
- ・ 「ESD レポート」の継続発行（6 月、9 月、12 月、3 月、各 5800 部）
- ・ ESD-J2005 活動報告書『ガイドブック：“未来をつくる教育”をつくる』を発行（700 部）

## 2. 研修及び普及啓発事業

ESD の 10 年がスタートするにあたって、さまざまな機関・団体との連携で ESD の周知や人材養成を目的としたセミナーや研修を実施することができた。

### <主な活動>

- ・愛知万博「地球市民村」において ESD シンポジウムを開催  
4月17日（日）：ユネスコバンコクからデレック氏を招聘、参加者約 50 名
- ・環境パートナーシップオフィス（EPO）と共催で連続セミナーを開催  
10月14日（金）：環境教育と開発教育  
11月10日（木）：環境と福祉  
12月6日（火）：環境教育と人権教育
- ・岡山市 ESD 指導者研修会を受託（7月28日）
- ・講師派遣（10件以上）
- ・共催・協力事業（上記以外に 4 件）

## 3. 調査研究および政策提言事業

10 月の国際実施計画発表以降、政府は関係省庁連絡会議を設置（12月27日）、実施計画の公表・パブリックコメントの募集（2月3日）、実施計画の画定（3月30日）と急速に体制と計画作りを進めることとなった。ESD-J はこのような進め方では市民参加が困難なことから、その進め方に対する意見提出を行ったものの、政府の方針を変えることはできず、せめて実施計画の策定プロセスに少しでも市民の意見を反映できるように、環境パートナーシップオフィスとの共催で意見交換会を各地で開催した。また、これらの動きと並行して、環境省から ESD 促進事業を受託し、ESD の先駆的事例調査に基づく ESD の進め方ガイドライン作成に取り組んだ。今後地域の活動をより ESD 的に発展させていくときの参考となるよう、このガイドラインを発展させ、普及していきたい。

### <主な活動>

- ・ESD 円卓会議 in 岡山を開催（6月8日）
- ・国内推進体制を求める要望書を小泉総理大臣に提出（12月27日）
- ・「日本における ESD 実施計画案」に対する意見提出およびその支援  
環境パートナーシップオフィスとの共催で意見交換会を開催（1月～3月）  
開催地：東京、岡山、広島、大阪、金沢、名古屋
- ・「日本における ESD 実施計画案」へのパブリックコメントの提出（2月）
- ・環境省「国連持続可能な開発のための教育の 10 年促進事業」  
ESD 地域ブロックミーティング開催（名古屋、富山）  
先進事例調査と ESD の進め方ガイドラインならびにパンフレットの作成

## 4. 地域ネットワークの形成および交流支援事業

2005 年度末までに全国 47 都道府県で「はじめの一步」を踏み出すための地域ミーティングを開催することを目指してきたが、2005 年度は 9 地域で開催、3 年間で 27 都道府県 32 地域となり、目標達成には至らなかった。しかしながら、ESD の周知と担い手の出会いの場づくりという第一ステップを、全国の半数以上の都道府県で行うことができたのは一定の成果であろう。

また、2005 年度は「第二ステップ」として、環境省の委託事業で東海と北信越という広域圏を対象としたブロックミーティングを開催した。都道府県という単位では、まだまだ ESD の理解者や担い手が充分育っていない現状において、複数の県が集まって、ブロック内で理解者や担い手を増やしていくことが有効であることが確認できた。

### <主な活動>

- ・地域ミーティングの開催  
開催地：徳島、板橋、岩手、泉北、秋田、香川、旭川、青森、日野
- ・ESD ブロックミーティングの開催  
開催地：名古屋（東海ブロック）、富山（北信越ブロック）
- ・全国 ESD コーディネーターミーティングの開催（2月4日 約 50 名参加）

- ・全国ミーティングの開催（2月5日 180名参加）

## 5. 国際ネットワーク推進事業

2005年度は、当初から目指してきた「ESDアジア太平洋ネットワーク（ESD-AP）」の発足に向けて大きな一歩を踏み出すことができた。夏には国際交流基金のサポートを受け韓国、インドネシア、タイを訪問しESD推進のパートナー候補の団体と交流、秋には立教大学およびNPO法人開発教育協会との共催で国際ワークショップを開催し、ESD-APの発足に向けた準備委員会を立ち上げるようになった。

### <主な活動>

- ・ESDの10年アジア太平洋地域開始記念式典に出展（6月）
- ・ESDアジア交流事業（国際交流基金主催、8月～9月）  
訪問国：韓国、インドネシア、タイ
- ・アジア太平洋地域ネットワーク会議開催（9月22日～25日）

## III. 会議等

### <総会>

通常総会 6月12日

### <理事会>

第1回理事会 5月7日-8日  
第2回理事会 6月12日  
第3回理事会 9月10日  
第4回理事会 12月11日  
第5回理事会 3月5日

### <PTリーダー会議>

PTリーダー会議 7月4日  
PTリーダー会議 11月18日  
PTリーダー会議 2月25日

## IV. 会員・理事・事務局等(2006年3月末現在)

### <会員>

団体正会員 96団体 個人正会員 107名  
団体準会員 9団体 個人準会員 126名  
賛助会員 4団体

### <理事>（以下敬称略）

代表理事 阿部治  
副代表理事 池田満之、牛山佳久、関口悦子  
理事 伊藤通子、岩崎裕保、大島順子、上條直美、川嶋直、小金澤孝昭、清水悟、  
新海洋子、竹内よし子、辻英之、新田和宏、降旗信一、三隅佳子、森実、  
森良、山本幹彦

### <監事>

浅見哲、世古一穂

### <顧問>

池田香代子、岡島成行、廣野良吉、坂本尚、CWニコル、松浦晃一郎、水野憲一

### <事務局>

事務局長 村上千里

スタッフ スティーブンス野口扶弥子、ニノ宮リムさち、渡辺いずみ